

# 軌道整備事業会計

## 1 業務の実績

軌道整備事業会計の令和3年度における営業キロ数は前年度と同じ8.905kmである。在籍車両数は合計36両で、前年度と比べると1両の減少となっている。これは、2両を売却し、1両を交通資料館の展示用とし、新たに2両を製造したことによるものである。また、平均車齢は41年8月となっている。

## 2 予算の執行状況

### (1) 収益的収入及び支出

収益的収入は、予算現額10億3,700万円に対し決算額11億3,611万円（執行率109.6%）であり、9,911万円の増となっている。主な内訳をみると、予算に比べ営業収益は、施設使用料収入は予算で見込んだ金額から増加したことなどにより1億4,415万円（45.5%）の増となり、営業外収益は、消費税及び地方消費税の還付金の減少などにより5,607万円（7.8%）の減、特別利益は、退職給付引当金の戻入により1,103万円の皆増となっている。

収益的支出は、予算現額15億400万円に対し決算額13億8,168万円（執行率91.9%）となっており、差額1億2,231万円が不用額となっている。

### (2) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額23億3,300万円に対し決算額14億9,792万円（執行率64.2%）であり、8億3,507万円の減となっている。これは、一部の建設改良事業の年度内の執行が困難となり、翌年度へ繰越したことにより負担金が減少したことなどによる。

資本的支出は、予算現額25億3,800万円に対し決算額16億8,379万円（執行率66.3%）となっている。差額8億5,420万円のうち、7億140万円が翌年度への繰越額で、不用額は残り1億5,280万円となっている。

資本的支出のうち建設改良費は、予算現額23億4,300万円に対し決算額14億9,932万円（執行率64.0%）となっており、主な内訳は次のとおりである。

・路面電車1100形低床車両（5次車）製造	3億1,800万円
・路面電車山鼻線軌道改良工事及び東本願寺前停留場改修工事	2億8,783万円
・ブルーム回転式電動四輪除雪車製造	2億5,850万円
・路面電車1100形低床車両（4次車）製造	1億8,294万円
・電車事業所構内線及び幌南小学校前曲線部軌道工事	8,758万円
・（仮称）山鼻西変電所き電線新設ほか工事	6,120万円

企業債償還金は、1億8,446万円で、資本的支出の11.0%を占めている。

資本的支出16億8,379万円の財源については、企業債4億8,100万円、国庫補助金398万円、他会計補助金298万円、負担金10億995万円で充当し、不足する額1億8,586万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,990万円並びに過年度分損益勘定留保資金1億4,595万円で補填されている。